

(様式2)

「第四次鹿嶋市総合計画」(案)等に対するご意見の概要とそれに対する鹿嶋市の考え方

○第四次鹿嶋市総合計画(案)について

	意見の概要	意見に対する市の考え方
1	全体を通してすばらしい計画だと評価できる。ただ、実現性となると高齢社会の加速化と人口減を思うならば、容易でないことが窺い知れる。絵に描いた餅にしないための施策(推進体制など)が、今後最優先に求められるような気がしてならない。	・ありがとうございます。ご指摘いただきました通り、今後は計画の方針に従い、市民の皆様と共に具体的に施策を推進していくことが重要と考えております。
2	新たな計画を立案する際、しかも市政運営を図るための市の最上位計画であるのならば、本来ならまず前次計画の検証を行い、その結果を踏まえて新計画を策定するのが筋のように思うが、検証はなされているのだろうか。窺わせる文言は見出し得なかったが…。	・前次計画の検証に関しましては、計画中に表記はございませんが、総合計画審議会にて数値目標の達成状況等を評価したうえで、第四次総合計画を策定いたしました。今後は、総合計画審議会での検証、進捗管理のほか、より多くの方に評価いただけるような体制を構築してまいります。
3	立派な計画だが、「まとめ」又は「おわりに」が欠落しているのではないかと。終わり方に唐突というか尻切れとんぼ感が残る。また、目次の最下欄には「資料編」とあるが、原案中には見当たらない。	・第四次総合計画の策定に当たっては、「バックカasting」という考え方を採用し、将来像をどのような施策、事業で実現するかをまとめております。P2にもありますとおり、総合戦略や個別計画のメニュー、目次として位置づけることを意図しましたので、ご覧いただいた計画構成としました。 ・「資料編」につきましては、最終的に添付させていただきます予定です。
4	P.2 図-1: 3層構造の「計画の構成」は、土台がしっかりとした感じがし、よいのではないかと。イラストや地図なども Colorful で、目を通そうという気を誘発する。	・ありがとうございます。最終的にも Colorful な冊子に印刷いたします。
5	P.2 図-2: 25年後という「将来」というよりも「未来」という語感が適度な印象を受けるが、あえて四半世紀先の「理想とする鹿嶋市の将来像」を、バックカasting思考(図-3)という方法を取り入れて策定する試みは、かなりの冒険を伴うように思えるが、その果敢さは評価できる。	・ありがとうございます。現状の課題解決や現状の延長から考えるだけでなく、「こうありたい」と願う理想を目指して方策を考える「バックカasting」手法は、長期的な将来を検討する上では有効なのではないかと考えます。
6	P.4「市民の思い」: 市民といってもその数は6万人を超え一律には表現し得ない。どのようにしてその思いを推し量ったのだろうかかと危惧したが、同ページの下方に各種団体とのヒアリングと未来のシナリオ作成ワークショップという手順を踏んでいることに納得感を得た。「思い」	・ありがとうございます。今回を一つの挑戦として、様々な計画策定等の場面で、市民の皆様と共に将来を描く手法を試みていきたいと思っております。 ・将来を「思い描く、イメージする」場合として「想う」を使用しております。

	ではなく「想い」としたことにも意味はあるの だろう。	
7	P. 4 「1」2～3行目：「～共有した後、目指すべき～とともに、市の地勢等を考慮しました。」→ 「～共有した後、市の地勢等を考慮しつつ、目指すべき～設定することとしました。」のほうが スマートな書き方ではないか。	・ご意見を参考に、わかりやすい表現に修正いた します。
8	P. 5 図-5：おおむね妥当な予想と思われるが、 どのようにして予想したのだろうか。私見なが ら、看過できないと思われるもので欠けている 変化もあるように思われる。たとえば、「分断・ 不寛容（社会）」と「気候変動（※P. 7などで触 れられている）」だ。それを包含していると思 える変化も列記されているが、明示することによ ってより社会環境の変化が認識されるのでは ないだろうか。なお、黄色地に白文字はとて 見にくい。変えてほしい。	・ご意見を参考とさせていただきます。個別計 画等で具体的に検討してまいります。 ご指摘の図-5に関しては、総務省の『『未来 をつかむTECH戦略』～とりまとめ～』から 「注目すべき日本の社会構造の変化」の項目を 抜粋し、図にしたものです。その旨の表記を追 記するなど、意図と根拠を分かりやすくする工 夫をいたします。
9	P. 5 図-6：フィンテックに脚注を付したのは良 だが、一般市民、特に高齢者にとっては不知ま たは理解できない用語が散見される。例を挙げ れば、クラウドやウェアラブル端末、IoTなど。	・ご意見を参考に、必要に応じて脚注を加えさ せていただきます。
10	P. 6 図-7：あまりにも文字が小さすぎて読み取 れない。参考程度に掲げたにしても、読み取れ ないのでは表示した意味が失われる。一面全部 を使うなど工夫してほしい。さらに付言すれば、 この箇所に限らず図が総じて小さく見にくい傾 向にある。	・本編の紙面の都合上、文字や図が小さい部分 もございますので、本編をホームページ上に公 開して必要に応じて拡大もできるように配慮 いたします。 ・また、市民の皆様に向けて、読みやすさを考 慮したガイドブックや概要版を作成する予定 です。
11	P. 8 表-2：鹿行広域事務組合の4と鹿島地方事 務組合の5の双方に「広域消防に関すること」 とあるが、どういうことか。私の理解では、広 域消防は救急搬送を含めてもっぱら鹿島地方事 務組合が担っており、鹿行広域事務組合が担っ ていることは理解の外にある。余談ながら、そ もそも養護老人ホームや職員の共同研修など を含めて鹿行広域事務組合に加わっていること にメリットがあるのだろうか。費用対効果の面 で大いに疑問がある。表下の下線を付した記述 には基本的に理解できるが、鹿行広域事務組 合がその体をなしているとは思えない。なお、「 国境を越えては」過大表記ではないか。	・ご意見を参考に、わかりやすい表現に修正い たします。 ・「国境を越えて急速に広域化」については、 情報通信技術の発達により、個人が世界と直接 つながるといったことも意識した表現となっ ております。
12	P. 9 図-11：「25年後に向けた不安」の3列目 の下は「不安」なのだろうか。むしろ希望や期待 になるのではないのか。	・ご意見を参考に、適切な表現に修正いたしま す。

13	P. 10 (2) 調査概要【一般】(1)：調査対象を69歳までとしているが、その根拠は何か。高齢化が一段と進み、市人口に占める70歳以上の市民は増加傾向にあるのではないか。こうした年齢層を対象から除外することは、すなわち高齢者の意向を反映する姿勢が欠如していることを意味するように思えてならない。私も後期高齢者の1人だが、非常に悲しいと同時に憤りすら覚える。なお、高校生を別途対象に含めていることは評価できる。	・第四次総合計画の策定に当たっては、「バックキャストिंग」という考え方を採用し、その目標を25年後の市の将来像に設定しました。市民意識調査は市の将来像を設定することを大きな目的としておりますので、25年後に市の中心となって活躍いただきたい年代を調査対象としたところです。 なお、計画策定後も市民意識調査は改善しながら、継続的に実施していく予定です。
14	P. 11 図-12の円グラフ：全体に暗い配色でマイナスイメージを受ける。特に「住みよい」や「どちらかといえば住みよい」はもっと希望に満ちた明るい色で表示したい。	・ご意見を参考に、わかりやすい表現に修正いたします。
15	P. 14 図-16：市街化調整区域の「地区計画」「区域指定」「その他」の別が分からない。要説明ではないか。	・ご意見を参考に、わかりやすい表現を追加します。
16	P. 14 (2)：DID（人口集中地区）の定義を知りたい。	・ご意見を参考に、わかりやすい表現を追加します。
17	P. 16 図-20「□これからの25年間に想定されるリスク」の3つ目の○「鹿嶋の活力の源泉の喪失」：「の」が3回も連出すると〈?〉になる。それぞれの「の」がどの言葉に掛かるのかも不鮮明になるのではないか。P. 29, 30にもある。	・ご意見を参考に、適切な表現に修正いたします。
18	P. 17 図-21：5つのキーワードについては共感する。「スマート」と「共創」だが、内容は理解できるものの、比較的長文をともにワンセンテンスに収めている。言いたいことを一文の枠内に押し込めた感じがする。適度に文を切るか箇条書きにするかなどの工夫がほしい。	・ご意見を参考に、わかりやすい表現に修正いたします。
19	P. 18 「1-3」：8つの「私たちの思い」に納得できる。これがすべてなのか、不要なものが混入しているのかはさておき、関係者などの協議の下で整理・集約された「思い」と理解できる。「-6」で「株式会社鹿島アントラーズ・エフ・シー（以下「鹿島アントラーズ」という。）」とあるが、これまでも「鹿島アントラーズ」は再三登場している。なぜ、ここで今「(~という)」と記するのだろう。	・16頁の図中に「鹿島アントラーズ」の文字が登場するものの、文中では18頁で初めて登場するため、このような表現にしております。
20	P. 19：人口減など暗い未来が予測される状況下で、それらを払拭するような明るいイメージの将来像だと感じ取れる。Colorful Stage KASHIMAの下、掲記された5つのスタイルで25年後を生きることができたら、素晴らしいこと	・ありがとうございます。Colorful Stage KASHIMAの実現に向けて、市全体で取り組んでまいります。

	だ。	
21	P. 29 図-30 : 先にも触れたが、想定されるリスクの中に「分断社会の進展」があってもよいように思うが、どうか。	・ご意見を参考とさせていただきます。個別計画等で具体的に検討してまいります。
22	P. 33 基本目標-1 : すばらしい目標だが、気になる箇所がある。3行目の「～まちとなるために」は、「～まちとするために」がより適切かと思うが如何か。また、「ために～ための～」と「ため」が重ねて使われていることも気になる。	・ご意見を参考に、適切な表現に修正いたします。
23	P. 35 (3) : 『鹿嶋らしさ』を生かす』—すばらしい着想だ。地域に住む住民が自ら住むまちの「らしさ」を常に認識し、その「らしさ」を誇りに思う気持ちが今後、生き残っていく上で欠かせない要素の1つだろう。「生かす」を「活かす」とする方がベターではないか。	・ありがとうございます。ワークショップでのご意見や審議会からのご意見で「鹿嶋らしさ」という視点を取り入れることにいたしました。 ・「生かす」に関しましては、行政計画として常用漢字の方を使用しております。
24	P. 37 基本政策 4 (P. 70にも) : 鹿島港周辺への投資を固定資産税の課税標準額を用いるのはいかがか。投資額そのものを用いるのが相応だろうと思うが、把握できないのか。融資元金融機関から情報を得ることはできないのか。百歩譲って固定資産税を用いるとしても、課税標準額ではなく評価額を用いるべきではないのか。さらに雇用環境を守る指標としては、有効求人倍率もさることながら「離職率」がより適しているではないか。	・第2次産業の市内投資の推移をみるためには、企業の固定資産の把握が適切だと考えております。指標として入手が容易で、確実であること、また市政運営に直接かかわる指標であり、重要な指標だと考えております。 ・税額は課税標準額に税率を掛けた結果となりますので、評価額よりも課税標準額の方が市政運営の指標にふさわしいと判断いたしました。 ・雇用確保に関する指標といたしましては、一般的で、各地域ごとに把握でき、入手が容易な「有効求人倍率」を採用いたしております。
25	P. 38 基本政策 1 : 2つの「・」で示された視点(着眼点)はすばらしく、また評価できる。「関連するSDGs」を掲げたのもグッドである。以下も同様。	・ありがとうございます。 ・SDGsに関しましては、今後、市の様々なまちづくりの場面で関連性を重視していきたいと考えております。
26	P. 39 施策 1-1 (2) : 「男女が～」とあるが、世の中は男と女で構成されているという認識が最近変化しているようだ。そこで、たとえば「社会的性差を越えて～」というような表現に改めると、先駆的に一歩踏み出す認識を表現することになるのではないか。	・国の「男女共同参画基本計画」等の表現を受けた形で、「男女が～」という表現を用いています。
27	P. 39 施策 1-2 (2) : 表題は「多彩」とし、以下は「多様」とを使い分けているが、明確な意図があるのだろうか。また「移住・定住の促進」だが、ひねくれた見方をすれば、鹿嶋市域から他市町村へ移住し、そこに定住することをも含むようにも読み取れるが…、どうか。	・「多様」「多彩」は、どちらもいろいろな種類、傾向があるという意味で用いていますが、将来像のColorfulを受けて「多彩」には種類が多く賑やかであることを込めています。 ・文脈によりまして、移住を転入と読み替えていただけるものと考えております。
28	P. 41 図-38 : 3つの折れ線がほぼ重なっていて	・図-38については、ご意見を参考に、表現を

	わかりにくい。さらに「労働力率」の説明がほしい。	修正いたします。 ・「労働力」については、説明を加えさせていただきます。
29	P. 42 施策 1-1 : 市が小児医療に力を入れて取り組んでいる姿勢は評価される。ただ、決定的な欠陥は産科医と小児科医が不足していることに尽きるのではないかと。全国的な傾向であり、市独自では解決し得ない課題だが、「子育てするなら鹿嶋市で」を掲げるのであれば、避けて通れない課題ではないか。	・ご指摘の通り、医師不足の解消は、市単独では解決できない問題です。茨城県、近隣自治体と連携し、解決してまいります。 市の魅力を上げ、医師や関係者の方々が市内に移住しやすい環境を整えてまいります。
30	P. 44 (1) ③ : 「女性の政策・方針決定過程への参画拡大を推進」に関して思うところがある。令和2年度まで約10年間、市の某審議会の委員を務めていた際のこと。委員には必ず2、3名の女性がいたが、事務局側の市職員には女性職員が少ないことが多く、稀にいても1名程度だったと記憶している。市民に対して意識改革や環境整備を求める前に、市の姿勢を改める必要があるのではないかと。	・審議会では2名/18名の女性が委員として参加し、ワークショップでは15名/33名の女性が参加して、計画策定を進めました。 ・ご意見を参考に、今後も市が率先して、あらゆる場面で女性の参画しやすい環境を用意していきたいと考えております。
31	P. 48 2つ目の◆1つ目の「・」 : 「GIGA スクール構想」には脚注があった方がよいのではないかと。	・ご意見を参考に、説明を加えさせていただきます。
32	P. 50 (1) ④ : 「Society5.0 時代」は要説明ではないかと。	・「Society5.0」については6頁で詳しい説明があるため、こちらでは割愛させていただきます。
33	P. 51 (2) ② : もっと具体的に市民の力を採り入れたらどうか。例えば英語教育には海外(英語圏)在住経験のある人、キャリア教育には企業などの第一線で活躍してきた人、体育(スポーツ)ではアントラーズや製鉄所硬式野球部関係者など、さらには宇宙教育に鹿嶋宇宙技術センターの布施先生など、鹿嶋には実に多彩な人材が揃っているのではないかと。こうした人たちが宝の持ち腐れにしてはもったいない。	・各学校では地域の方や様々な経験を持つ方を活用したキャリア教育などを実施しています。また、学校ではない社会教育の場でも、経験豊富な地域の方たちの協力を得て、子どもたちの学習、体験の場を設けています。今後も継続して取り組んでいきます。
34	P. 52 (1) : 「郷育」に関連して思うところを…。鹿嶋に移住してきて少々驚いたことがある。地元在住の年輩者であっても、意外に鹿島の歴史や文化財について不知であると同時に、関心も乏しい人が多いことである。ふるさとガイドの人たちにしても、多くは移住者ではないのか。そこでかねて云々されている歴史資料館だが、是非ともほしい施設だ。子どもたち向けだけでなく、広く市民にも「郷育」の場となってほしいし、さらには来訪者への発信の場ともなる。	・ご意見にありますとおり、市の地域資源(宝)を後世に受け継ぐとともに、最大限活用できるよう努力してまいります。

	<p>神宮を中心とする古代からの歴史もさることながら、鹿島開発のことすら知らない世代が多くなっているのではないだろうか。後世に遺すべき責務は、いま生存している関係者にあるのではないか。さらに貴重な「郷育」の場は郡家跡の再現だと思う。あれほどに広大な跡地を、発掘を進めているとはいえ、そこまでとするのはまさに「宝の持ち腐れ」そのものであろう。財政面での課題は大きいだろうが、なんとしても当時の政庁など建物群を再現してほしい。「郷育」の場のみならず、誘客の有力な手段となるのではないだろうか。</p>	
35	<p>・P.53 (2) : 4項目すべてに共感するが、特に③を列記したことは評価できる。</p>	<p>・ありがとうございます。今後鹿嶋市では、市全体で SDGs について積極的に取り組んでまいります。</p>
36	<p>・P.55 施策3-2 (1) : 鹿嶋市にとって不足するものとして挙げられるトップが、「地域医療体制」ではないだろうか。市内のみならず鹿行地区には国公立の医療施設は皆無であり、民間病院にしても市内では小山記念病院くらいしかない (P.57 表-4 で自認していることは窺える)。移住者を含め、特に高齢者にとって不安なのは、この医療体制の不十分さにある。今後、移住者を呼び込もうとする上での最大の課題となるように思える。もとより市の力だけでどうにかなることではないが、全国でも最悪な医療体制の整備は急務と言わざるを得ない。</p>	<p>・ご指摘の通り、医師不足の解消は、市単独では解決できない問題です。茨城県、近隣自治体と連携し、解決してまいります。 市の魅力を上げ、医師や関係者の方々が市内に移住しやすい環境を整えてまいります。</p>
37	<p>・P.56 ◆の3つ目の「・」: 一文に「～は、」が2カ所あり、二重主語のようになっている。「～女性 83.5 歳で平均寿命と～」の「で」の後ろに読点を付するべきか。</p>	<p>・ご意見を参考に、適切な表現に修正いたします。</p>
38	<p>・P.60 施策指標 3-2 : 枠で囲った 2021 年度と 2031 年度 2つの男女別の数値だが、単位が「年」であるのに、表題は自立<期間>と記している。単位は「年間」になるのではないか。また、この数値は「平均自立期間」とあるが、平均寿命を表しているのか。</p>	<p>・「平均自立期間」は「健康寿命」と同意義で、日常生活動作が自立している期間の平均をいいます。介護受給者台帳における「要介護2以上」を「不健康」としまして、平均寿命－不健康期間で算出します。 ・ご意見を参考として、最初に登場する 56 頁に説明を加えさせていただきます。</p>
39	<p>・P.60 (1) ④ : 2行目末からの取り組みも大切だと思うが、医療に関わる個人データは秘匿すべき最高レベルの情報ではないか。文中に「個人情報の管理に十分意を用いながら」といった文言を付け加えたらいかがか。</p>	<p>・ご意見を参考に、適切な表現に修正いたします。</p>
40	<p>・P.63 施策 4-1 (1) : 「重点地域資源」の指定定</p>	<p>・「鹿嶋市観光振興基本計画」では、認知度、</p>

	<p>義はあるのか。また、具体的に指定されているのはP. 67の(1)①に掲げる4つの資源ということでのよいのか。観光業で思うことの1つに、P. 67の施策4-1でマリンスポーツに触れているが、「海」資源の活用がさほど重視されていないことがあるように思う。海を守ることは非常に重要だが、釣りやサーフィン、浜辺での遊びや催し、さらには工場夜景見学のナイトクルージング等、海資源にもっと注目してもよいのではないか。</p>	<p>観光入込客数、永续性を基準として採用し、「鹿島神宮」「茨城県立カシマサッカースタジアム」「下津・平井海岸」「大野潮騒はまなす公園」の4つを「重点地域資源」としています。</p> <p>・「海」資源の活用は、これまで以上に活用を進めてまいります。</p>
41	<p>・P. 63 施策4-1(2)：農業で思うのは耕作放棄などによる遊休農地である。年々増加傾向にあるように思えてならない。新たな担い手の育成・支援は急を要するのではないか。農地中間管理機構の農地集積バンクなど既存の制度や仕組みを活用し、さらに若手営農者が運営する農事法人などを積極的に招致するなどによって、②から④も加速するように思うがどうだろうか。</p>	<p>・農業における新たな担い手の育成・支援については、重要な取組であることから、2022年度版の総合戦略の事業ととしても位置付けております。</p>
42	<p>・P. 64 図-43：「エネルギー期限」は「エネルギー起源」の誤りではないか。(P. 72は「起源」となっている)。また、全国平均との対比があればよりよく理解できるのではないだろうか。</p>	<p>・図-43の表題については、適切な表現に修正いたします。</p> <p>・全国との対比につきましては、ご意見として伺います。</p>
43	<p>・P. 66 図-50：興味深い図だが細部が読めない。もっと拡大してほしい。図-52のDMOであるが、事業内容は分かるもののDMOが何の略なのかの説明がほしい。併せてこれまでの事業実績を示せたらさらによいのではないか。</p>	<p>・本編の紙面の都合上、文字や図が小さい部分もございますので、本編をホームページ上に公開して必要に応じて拡大もできるように配慮いたします。</p> <p>・DMOにつきましては、ご意見を参考に、分かりやすい説明の工夫をいたします。</p>
44	<p>・P. 67 施策指標4-1-1：目指すことは大切だが、10年間で3倍は過大にすぎないか。悲観的な要因だが、市内には滞在型の宿泊施設が乏しいことに加え、観光宿泊客が利用するセントラルホテルが神栖市域に所在することが致命的な要因であり、あまりに背伸びした指標は如何なものか。</p>	<p>・施策指標4-1-1「主要宿泊施設の宿泊者数」に関しましては、コロナ禍での現状値となっておりますが、目標値はアフター、ウィズコロナを見据えた設定をされており、また観光によるまちづくりを標榜しておりますので、目指すべき数値と考えております。</p>
45	<p>・P. 67(1)①：二次交通手段として、可能ならば小型の無人電気自動車が最良だが、困難であるならば、電動補助自転車やシニアカーなどをレンタルで貸し出したらどうか。</p>	<p>・ご意見を参考とさせていただきます。個別計画等で具体的に検討してまいります。</p>
46	<p>・P. 68(1)③：この中に採り入れたい提案がある。それはスタジアム近郊に「アントラーズ村」を開発整備すること。整地し、賃貸でも分譲でも、戸建でも集合住宅でもよいが、一時滞在型・別荘型のアントラーズファンを主体とするエリ</p>	<p>・ご意見を参考とさせていただきます。個別計画等で具体的に検討してまいります。</p>

	アを設ける。試合開催日やアントラーズの催し開催日を含めて数日間滞在してもらい、あるいは夏休みにファン・サポーター仲間の交流会を実施し、その間滞在してもらいなど。	
47	・P. 68 (2) ①: 新たな育成は欠かせない事業だが、既存の若手営農者を呼び寄せる「即戦力」方式も考えられるのではないか。他地域ですでに実績をあげている若手営農者を募り、営農地の幹旋や従業者集め、立ち上げ資金の幹旋支援や、市が公社を設けるなどして融資や出資をするなどである。1つの成功例が他の成功を誘発するのではないだろうか。	・ご意見を参考とさせていただきます。個別計画等で具体的に検討してまいります。
48	・P. 69 (3) ①: 神宮参道の空き店舗をもっと有効に活用することはできないか。空き店舗を改修や解体新築し、屋内に「一坪店舗」を複数用意して開店者を募集する。多種の商品を大量に陳列する店ではなく、アイデアなどを販売材料とする店舗で、公序良俗に反しない限り何でもありとする。開店当初は家賃を免除するなどの便宜を与え、軌道にのったら売り上げに応じて賃料を課すなどが考えられる。	・ご意見を参考とさせていただきます。 現在も市やまちづくり会社等が中心となり、中心市街地活性化の事業として、「空き店舗リノベーション事業」「まちなか空き店舗マッチング事業」(R2年度～R6年度)に取り組んでおりますので、今後も推進してまいります。
49	・P. 70 (1) ①: 「に引き続き要望していきます。」が太字になっている。強調したいからなのか?	・適切な表現に修正いたします。
50	・P. 71 図-53: 興味深いイメージ図だが、文字が小さく内容が理解できない。もっと拡大できないか。	・本編の紙面の都合上、文字や図が小さい部分もございますので、本編をホームページ上に公開して必要に応じて拡大もできるように配慮いたします。
51	・P. 72 施策指標 4-3: 「2031年度 -26%」とあるが、いつの時点の何と比較して「-26%」なのか分からない。	・現状値からマイナス26%を示しています。 ・ご意見を参考に、わかりやすい表現に修正いたします。
52	・P. 72 (1) ②: 「5R」の説明がほしい。特に「リフューズ、リベア」は馴染みがないのではないか。	・ご意見を参考に、説明を加えさせていただきます。
53	・P. 75 (2) ①: 高齢消費者に関して危惧することがある。それはキャッシュレス社会への対応困難が憂慮されること。地理的な買い物困難者だけでなく、支払できないことによる心理的買い物弱者が増加するのではないだろうか。	・ご意見を参考とさせていただきます。個別計画等で具体的に検討してまいります。
54	・P. 76 基本政策5「3つの・」及びP. 85 (1) ⑤: 全面的に賛同し、同意する。極論すれば今後、鹿嶋市が生き残っていく上での最優先課題といえるのではないか。なかでも「持続可能な財政運営 (P. 77「施策5-2」(1)) が現実として最も重視せざるを得ない課題ではないだろうか。	・ご意見を参考とさせていただきます。 人財育成と適材適所の配置により、持続可能な行政運営を目指すものであり、「削減」ではなく「抑制」として、行政の生産性向上を目指しております。個別計画等で具体的に検討してまいります。

	<p>か。最大限の知恵と工夫が求められる。そういう意味で、⑤の「給与の適正化」に注文がある。もとより地方公務員法に基づく給与の適正化は必須だが、これが過度の「人件費削減」になっては本質を失う。優秀な人材を確保し、鹿嶋市の将来を委ねるに足る人材としていくためには、財政運営の柱の1つに「人件費削減」を据えるのはいかがなものか。「職員定数」についても同様。</p>	
55	<p>・P. 77 施策 5-2 (1) : 「持続可能な財政運営」が求められる状況下であるにも関わらず、行財政審議会を廃止（休止？）したことを、元委員として悔しくかつ残念に思う。</p>	<p>・行革大綱につきましては、その他の個別計画により、代替可能であると判断し、第6次までで一旦休止をいたしました。ただし、あくまでもこの措置は、大綱の策定のみを休止したものであり、行財政改革自体の取組は他の個別計画、行政DXの具体的な取組に引き継がれております。</p>
56	<p>・P. 79 「財政指標」：掲げられている4つの財政指標についての説明がほしい。</p>	<p>・ご意見を参考に、説明を加えさせていただきます。</p>
57	<p>・P. 80 鹿嶋らしさ：1行目に「前述の～」とあるが、ここは「20 ページで述べた～」と前述のページを具体的に記すのが親切ではないか。</p>	<p>・ご意見を参考に、適切な表現に修正いたします。</p>
58	<p>・P. 81 (1) ① : 「定住・移住の促進に向けて、鹿島臨海工業地帯を中心に広がる産業機能の更なる機能強化を図ります」とあるが、定住・移住の促進と、産業機能の強化とが結びつかない。就労機会の拡大を意図した表記なのか。</p>	<p>・ご指摘の通り、産業機能の強化により就労機会を拡大し、移住や定住の機会につなげることを意図しておりますので、適切な表現に修正いたします。</p>
59	<p>・P. 82 (2) : 限界集落をつくらないためには、地域の公共交通対策が重要であることは言を俟たない。しかし、市域全体を交通網で覆う方式は非効率的だともいえる。コンパクト化した生活空間やサービス提供拠点を結ぶ特化した交通対策が求められるのではないだろうか。</p>	<p>・「コンパクト（拠点形成）」& 「ネットワーク（拠点間連携）」により、効率的・効果的なまちづくりが重要となりますので、個別計画等でさらに対策を検討してまいります。</p>
60	<p>・P. 85 (2) ① ③ : ①の「RPA」は要説明ではないか。③の後段だが、今後高齢者のウエイトはますます増加していく。そうした中、個人の資質や努力の及ばない急速なICT化などについていくことが難しい高齢者が増加することは抗えない事実だ。本気で支援やフォローに取り組まないと、「スマート自治体」に対応できない多くの難民が生まれることになる。</p>	<p>・「RPA」につきましては、ご意見を参考に、説明を加えさせていただきます。</p> <p>・ICT化により、生活に支障が出ることはないよう、個別計画等で具体的に検討、対策を講じてまいります。</p>